

## Y05a 若手天文教育普及ワーキンググループ(わか天)の活動 II: 若手を対象とした合宿企画の実施

村越麻友(青山学院大学), 桑田敦基(東京大学), 小林星羅, 齋藤有菜, 鈴木悠太(愛媛大学), 佐藤優衣(明治学院大学), 原直誉(京都大学), 松井瀬奈(名古屋大学), 松尾たま希, 松坂怜, 渡邊良介(鹿児島大学)

現在、若い世代を中心に、さまざまな天文や宇宙関連の活動が存在するが、一方で、“天文教育普及活動”への第一歩を踏み出せない若手が大勢いるのも現状である。そこで、一般社団法人 天文教育普及研究会の若手天文教育普及ワーキンググループでは、「天文教育普及活動における若手のスキル向上」、「若手同士のコミュニティの構築」、「ベテランとのコネクション強化」を目標に掲げ、若手同士が研鑽できる環境作りを目指し、活動している。

これらの目標を達成するために、2024年3月に兵庫県立大学西はりま天文台にて、天文教育普及活動に興味はあるが経験に乏しい若手30人を対象にした合宿企画「学生のための星空交差点 ～はじめての観望会デザイン～」を実施した。本企画では星空観望会を軸とした観望会デザインに焦点を当て、数々の経験や実績のある三浦飛未来氏を講師に招き、観望会デザインに関する研修会やグループワークを行った。加えて、西はりま天文台職員による天体望遠鏡に関する研修会や小型望遠鏡を用いた自由観望、西はりま天文台主催の観望会への参加、コミュニティ構築のための交流会等も行った。本企画の有意性をはかるため、合宿の前後に「科学コミュニケーションを行うための企画立案から実施までのスキルがあるか」など7項目のアンケートを行ったところ、全ての項目において顕著な変化が見られた。同様の企画を継続的に実施することが将来の天文教育普及業界で活躍する人材の育成に大きく影響を与えると考える。本講演では、実施した合宿の概要とその効果について報告する。